



恒例の賀詞交歓会を実施



1月1日(日曜日)に恒例の振興会主催の賀詞交歓会が実施されました。昨年に続き本年も雪のない賀詞交歓会となり、多くの地域の皆さんと予想したのですが、昨年より少ない約50名の皆さんのが来館して下さいました。大慶院様の御祓いで今年一年の地区内安全部屋をとつていただき、昨年に続き庭野儀三郎様より天神唯子の音頭をとつていただきました。今回も有意義な時間を過ごす事が出来ました。後半には例年通り恒例の福引



を行い、今年一年の運勢占いをし、見事最高賞には越村齊様が射止められました。それぞれの皆様が地域内の話題と笑顔に花を咲かせました。

【大慶院様御祓い】

地域の次世代を担う生徒に政治とまちづくりに興味を持つてもらおうと、十日町青年会議所が十中三年生68人を対象に初の「未来授業」を同校で実施しました。地域おこし協力隊導入を題材に、地域活性化には何が必要かを子供達は自ら考えました。

初めて市職員が、平成17年の合併時の人口6万3千人が現在5万5千人まで減少し、集落の維持が行政だけでは困難になり地域おこし協力隊を導入したこと



十中新座・七和地区の卒業生が新座駅に顔出し看板を設置!

説明しました。子供たちはテーマ「私たちが地域おこし協力隊になつたら」で検討しました。8班に分かれなぜ人がいなくなるか課題を拾い出し、生徒たちはどうすれば地域に住みたくなるかを考え、「若者が集まるエリアを作る」「農業都市計画」などの活性化プロジェクトを発表しました。そして、新座地区的卒業する三年生の皆さんのがしんざ駅に顔出し看板を作成設置しました。



今年も頑張ります。ODF4C

第68回雪祭り雪像部門にファミリーが挑戦しました。目標『市長賞』と全員して審査当日は雨の日と容

一丸となつての約10日間の挑戦でした。作業期間中は晴れの日、雪の日あり、そして審査当日は雨の日と容

赦なく作業に襲い掛かり困難な作業に襲い掛かり困難な作業に届かなかつたものの、二日間多くの観光客を魅了し、地域を盛り上げてくれました。雪まつり審査員の評価では『新座に向かう坂の途中から、高くそびえる古城が見えた。夜空にくつきりと白い姿を現し、周囲

の世界と画していた。零れ桜の中、加藤清正の初陣の美しさだけでなく、天候様子が絶妙な均衡で表現されていました。驚いたのは構成の効いたラインにアウトドア・ファミリー・4・クラブの実力の高さだった。』と評価されていました。



〔編集後記〕
早いものです。「明けましておめでとう」からもう三ヶ月が過ぎようとしています。年をとればとるほど時の速さを感じるのは私だけでしょうか?気がつけばもうすぐ桜の開花、雪国の人にとっては一番楽しみな春です。振興会では今年も「グリーンウォーキー」を予定しますが、その前に一足早く昨年も増殖した『ミズバショウ』を見に行つてはいかがでしようか?花の妖精にあえるかもしれませんよ!

NPO法人【仮称】しんざ風の谷】設立のご案内
今年5月で合併するJA新座建物内に設立準備を進めております。
詳しくは別紙配布「新座にNPOをつくりましょう!!」チラシをご覧ください。



第38回十日町新雪ジョギングマラソン大会実施



本年はランナーにとって最高のコンディションでの大会となりました。県外特に西日本の選手にとって少し物足りない大会だったかもしれません。大会そのものは好天に恵まれ、当

日エントリーが過去最高となり総勢661名の参加選手となりました。大会運営では、振興会を中心に地元住民の皆さんのが実行委員として協力していただきありがとうございました。

【各新聞記事の紹介】

『十日町マラソン』661人

が健脚競う 積雪なく「残念」

十日町恒例行事「第38回

新雪ジョギングマラソン大会」が1月2日、十

日町市で開かれた。県内外

から計661人が参加し、

沿道の声援を受けながら、

冬の日差しの下を駆け抜け

た。大会は、同市新座甲の

十日町中学校を発着点に、

ハーフ(21.0975キロ)

▽10キロ▽5キロ▽3キロ

の各コースで実施。午前

9時半の開会式後、参加者

は次々にスタートし、それ

ぞれのペースでゴールを目

指した。ゴールした参加者

には、つきたての餅も振る

舞われ、正月気分を味わつ

ていた。【毎日新聞記事より】

大会参加者

『マラソン参加、

地元温かく』

地元の恒例行事、十日町新雪マラソンに10年ぶりに参加しました。高校生の時に一度、部活で参加しましたが、今回は趣味で帰郷しました。

『毎日新聞記事より』



1月15日(日曜日)恒例清水神社奉賛会の皆さんによるべ焼きを9時より新座コミニティーセンターで約40名参加され実施、さらに一区主催のべ焼きは大慶院で10時より約70名の参加で行われました。年末年始は昨年に続き小雪となり、サンダル履きでの年越しとなり、小正月のべ焼きが危ぶまれましたが、正月過ぎ一週間後には連日の降雪日が続き、当日にな



今年は二ヶ所同日でのべ焼き

1月15日(日曜日)恒例清水神社奉賛会の皆さんによるべ焼きを9時より新座コミニティーセンターで約40名参加され実施、

正月過ぎ一週間後には連日の降雪日が続き、当日にな

つてみれば一メートル以上の積雪となり例年通りのべ焼きとなりました。どちらも本年の新座地域の、そして地域住民の安全、安心、健康を象徴するかのような火柱が天高くのぼりました。この火柱の勢いで今年一年を住民みんなで協力して地域づくりを発信できれば良いのではないかと想

か。子供達が将来安心して

この地で生活できるように!